

人口と世帯	人口	393,081人	人
	男	195,279人	人
	女	197,802人	人
	(前月より)	6,799人増	
世帯	158,220世帯		
	(前月より)	4,10世帯増	
	(14年11月1日現在)		

12月議会が開会 - 会期は20日まで -

補正予算など23議案を審議

平成14年第4回市議会定例会が12月2日に開会されます。今議会には、平成14年度一般会計補正予算など23議案が提案されます。議案の内訳は、補正予算4件、条例15件、契約1件、町区域の変更3件となっています。会期は今日20日までです。

補正予算案

今回の補正額は、一般会計が1億3416万6千円、特別会計が1674万円、一般会計と特別会計の合計で、1億5090万6千円となります。

一般会計補正予算の歳入の主なものは、市債8億6298万1千円、都支出金1億4927万円、国庫支出金1億4492万円の順になっています。同じく歳出の主なものは、民生費1億82万5千円、土木費3億4388万7千円、総務費1億7095万8千円

の順となっています。補正後は、一般会計1億56億4510万9千円、特別会計9億9360万5千円、一般会計と特別会計の合計で2億50億4116万円となります。

一般会計の補正後の内訳は、歳入では市税63億3710万4千円(構成比55.0%)、国庫支出金10億1292万9千円(同8.7%)、都支出金9億768万1千円(同8.3%)、繰入金8億834万8千円(同7.0%)、市債6億1838万1千円(同5.6%)の順になっています。

歳出では、民生費3億5374万3千円(同30.6%)、教育費2億0864万5千円(同18.0%)、土木費1億8155万4千円(同15.7%)、総務費1億4616万7千円(同12.5%)、衛生費1億2015万1千円(同10.4%)の順になっています。

今回の補正予算に計上されている科目別の主な事業は次の通りです。

【総務費】 公共施設整備等基金積立金(3億680万円)

【民生費】 高齢者住宅設備改修給付費(1600万円)、乳幼児医療費助成費(1億5987万円)、児童手当費(3354万円)、特別給付費(6294万円)、児童保育運営費(1億2665万円)、(仮称)鶴川子どもセンター実施設計委託料(400万円)、生活保護費(6億6945万円)

【衛生費】 外壁改修工事費(1110万円)

【商工費】 町田市元気をだせ商店街事業補助金(425万円)、町田市商店街活性化事業補助金(200万円)

【土木費】 道路整備工事費(1560万円)、ペDESTリアンデッキ改修工事費(1200万円)、駐車場案内システム試行委託料(500万円)、町田市中心市街地まちづくり等整備事業補助金(1440万円)、公園等用地購入費(8億635万円)

【公債費】 教育債(東京都区町村振興基金)

(繰上償還)4305万円)

【条例案】

ペイオフ対策の一つとして、基金に属する現金の預け先を現行規定の「銀行または信用金庫」から「銀行その他の金融機関」に改正する「町田市基金管理条例の一部を改正する条例」。

預託金廃止に伴い、新たな制度融資の枠組みを定める「町田市中企業融資に関する助成条例」。

保育費用の徴収については、従来、町田市保育運営費徴収規則で定めていたが、徴収基準額表を含めて条例化する「町田市保育運営費徴収条例」。

市立保育園において行う特別保育について条例化する「町田市立保育園における特別保育の実施に関する条例」。

新たに設置される小児の急患診療所を含め、急患センターとして条例化を図る「町田市急患センター条例」。

小児医療の充実のため、診療科目に「小児外科」を新設する「町田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」などです。

中心商店街・環境浄化パトロール 安全で快適に歩ける街を目指して

最近、町田市の中心商店街周辺では夜間の客引きが目立ち、「怖くて通れない」、「卑猥な言葉をかけられた」など、市民から市や警察に沢山の苦情が寄せられています。また、歩道にはみ出して止められた自転車や違法な看板、落書きなども目立っています。

そこで試験的に11月中旬、町田市、中心商店会、町田警察署が協力し、合同で昼夜2回に分け、街のパトロールを行ったところ、かなりの効果がありました。この結果を受け、12月から、環境浄化パトロール隊を発足させ、正式に活動を行うことになりました。12月は2日・3日・12日・13日・21日・22日・24日・26日の昼夜間を予定しています。

安全で快適に歩ける街を目指すとして、市民のみなさんご理解とご協力をお願いします。問商工観光課 ☎724・2129

F1ドライバー 佐藤琢磨選手が 寺岡市長を訪問

高ヶ坂出身のF1ドライバー佐藤琢磨選手が11月15日に市役所に寺岡市長を訪問し、10月に行われたF1世界選手権の最終戦となる日本グランプリで5位に入賞したことなどを報告しました。



抱負を語る佐藤選手

佐藤選手は今シーズンからの参戦で、入賞は日本人として片山右京選手以来です。また、94年に光和高校在学中に全国高校総合体育大会の自転車競技で優勝し、その報告に寺岡市長を訪れたことがあり、2度目の対面となりました。

寺岡市長は「町田はサッカーの戸田選手など世界的な選手が活躍

市長随筆 その4

町田市長 寺田 和雄

お隣の相模原市は、町田市より五年ほど早く、昭和二十九年、神奈川県下十番目の市制を施した。市名を「相模市」としたかったようだが、県庁から相模市では神奈川県全体をイメージするので容認できないとクレームが出、やむを得ず「相模原市」を採ったという。今となってみると、人口六十万を超え、首都圏でも堂々たる地位を占めるに至った同市なので、「原」はなくてもよかったのではないかともしう。町田市は昭和三十三年、隣接する四ヶ町村(町田町、鶴川村、忠生村、堺村)が対等合併し、東京都下九番目の市としてスタートした。当時の人口六万余が、今や四十

町田の地名、町名について(2)

万に迫ろうとしている急成長ぶりである。四ヶ町村のなかでは町田町が中核的な位置にあったので、市名には「町田市」を採用することとなった。しかし、「西東京市」、「南多摩市」、「境市」、「都南市」などの案が三村側から出され、すんなり「町田市」とはいかなかったようである。いずこも新市名では何かと話題はつきない。町田市とは友好関係にある山梨県増穂町に隣接する甲西町や楡形町など六町村が合併し、「南アルプス市」として来年四月から発足することを決めたという。市域には登山の好きな人にはお馴染みの芦安村も含まれ、富士山に次ぐ本邦第二の高峰北岳などがあり、